



一般財団法人 住総研

第6回 住総研 清水康雄賞 贈呈式および記念講演会

受賞記念講演

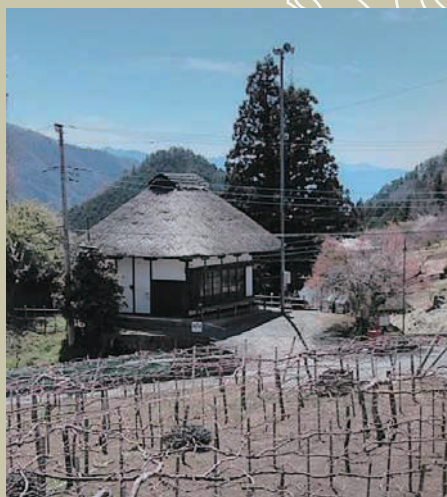
後藤 治

工学院大学 総合研究所教授・理事長

〔講演テーマ〕

歴史的建造物の価値－発見と創造

論より実践 日本建築史・歴史的建造物の保存修復



甲州市塩山上条集落観音堂

2019年11月12日（火）

開場 13：30 ／ 贈呈式 14：00 ／ 記念講演会 14：20 ～ 15：10

第一ホテル東京

〒105-8621 東京都港区新橋 1-2-6 4階 プリマヴェーラ

（JR・東京メトロ銀座線「新橋駅」7番出口方面より内幸町地下歩道にて直結、徒歩約2分）

入場無料 100名



第 6 回 住総研 清水康雄賞

住総研 清水康雄賞とは

創立 60 年を機に平成 20 年に創設された顕彰制度である。対象者は、住総研の目的「住まいに関する総合的研究・実践並びに人材育成を推進し、その成果を広く社会に還元し、もって住生活の向上に資すること」に適った優れた研究成果をあげるとともに、新たな時代につながる、或いは新分野を切り開くことが期待できる実践的活動を行ない、かつ今後も活躍が期待される研究者とする。概ね 3 年毎に 1 名を選考し、住総研 清水康雄賞として正賞、副賞を授与し表彰する。

選考評

後藤治氏は、歴史的建造物に関わる分野を中心に活躍され、とりわけ、失われつつある近代建築や町並みの保存活用に向けて、その基盤となる法制度の整備と研究に取り組まれました。その成果は、全国の近代建築はもとより民家等の保存活用に力を与えるもので、住まいに関する優れた業績として評価されます。

後藤氏の業績は、文化庁在籍時代に尽力された「登録文化財」制度の創設（1996 年）に始まります。これは、取壊しの危機にある近代建築や民家等を文化財として幅広く登録する方法に道を開くものでした。その後、工学院大学に転身されてからも、数十件もの登録推薦書を担当されるとともに、その保存活用の担い手であるヘリテージマネージャーの養成について、全国協議会の運営委員長や各地での講座講師を長年務められ、本制度の普及・推進に尽力されました。

さらに、特筆すべきは、伝統的建造物への建築基準法の適用除外に関する研究と実践です。科研費を得て欧州・米国等の実態を調査するとともに、日本での実現のあり方を検討されました。とくに、自治体条例によって適用除外が可能になることに着目し、

受賞記念講演会 後藤 治 氏

(工学院大学 総合研究所教授・理事長)

[テーマ] 歴史的建造物の価値—発見と創造

これまでに取り組んできた、日本建築史と歴史的建造物の保存修復に関わる研究と実践活動についての主な取り組みを紹介する。大学院で 4 年、文化庁で 11 年、工学院大学で 20 年余りの活動の成果である。

テーマとした「歴史的建造物の価値—発見と創造」は大学での研究室の活動指針としてきたキャッチフレーズでもある。

日本建築士会連合会や自治体職員に協力して条例制定を推進されました。現在 10 を越える自治体で条例が制定されるまでに発展しています。

一方、甲州市塩山の上条集落、横手市の増田町その他では、地元関係者と連携して、伝統的建造物群保存地区による歴史まちづくりや古民家等の再生を実践され、それを地域の活性化に展開すべく努力されておられます。また、茅葺き屋根の延焼防止のための消防技術の共同開発や、木造密集地における防災との両立への関心など、名もなき歴史的建造物をいかに残すかという立場から、精力的に活動を展開しておられます。

以上、後藤治氏による、歴史的建造物及び民家等の保存活用に向けた法制度の整備、その基礎となる調査研究、そして普及・実践活動という一連の業績は、清水康雄賞が顕彰すべき「住まいに関する研究並びに実践における特に優れた成果」にふさわしい顕著な成果として、高く評価されました。

住総研 清水康雄賞選考委員会 委員長 小林 秀樹

プロフィール



後藤 治 (ごとう・おさむ) 工学院大学 総合研究所 教授・理事長

1986 年東京大学大学院工学研究科修士課程修了、1988 年同博士課程中退、1988 年文化庁文化財保護部建造物課文部技官、1999 年工学院大学工学部建築都市デザイン学科助教授、2005 年同教授、2011 年工学院大学建築学部建築デザイン学科教授、常務理事、2017 年同理事長、2018 年工学院大学総合研究所教授、理事長、現在に至る

専門分野：日本建築史、歴史的建造物の保存修復

主な著書：『- 論より実践 - 建築修復学』(共立出版 2019)/『伝統を今のかたちに 都市と地域再生の切り札！』(共著、白揚社、2017) / 『食と建築土木』(共著、LIXIL 出版、2013)/『それでも「木密」に住み続けたい！ 路地裏で安全に暮らすための防災まちづくりの極意』(共著、彰国社、2009)/『都市の記憶を失う前に 建築保存待ったなし！』(共著、白揚社、2008) / 『建築学の基礎⑥ 日本建築史』(共立出版、2003)

住総研 清水康雄賞選考委員会 (委員五十音順)

委員長 小林 秀樹 (千葉大学大学院 教授)
委 員 在塚 礼子 (埼玉大学 名誉教授)
佐藤 滋 (早稲田大学 名誉教授)
村田 真 (㈱日経 B P シニアエディター)
若林 幹夫 (早稲田大学 教授)
道江 紳一 (一般財団法人 住総研 専務理事)

申込み方法

ホームページまたは FAX にてお申し込みください。FAX の方は以下の申し込み用紙にご記入の上、送付ください。

<http://www.jusoken.or.jp/commend/shimizuyasuo.html>

お問い合わせ

一般財団法人 住総研

東京都中央区日本橋 3 丁目 12 番 2 号朝日ビルディング 2 階
TEL03-3275-3078 FAX03-3275-3079

住総研 清水康雄賞 受賞記念講演会 申込み	ふりがな お名前	ご所属
	住所(□自宅 □所属)	
	e-mail	
申込締切 11/5 FAX03-3275-3079		